

GOAT BULLETIN

GOAT BULLETINは、おかげさまで3年目に突入しました！

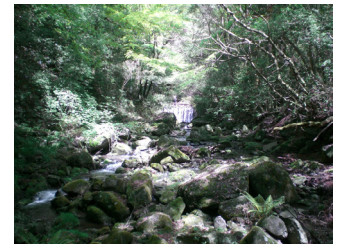
第24号

平成20年5月発行

新入生歓迎会

平成20年度畜産資源新入生歓迎会が、4月14日(月)に百万遍の創作ダイニング【ザザンザ】で開催されました。今年新たに研究室のメンバーとなったのは、新4回生2名と修士1回生2名と研究生1名の合計5名です(詳しくは、新メンバー紹介コーナーで☆)。今年度の畜産資源は先生方と事務さん、学生含め総勢17名となりました。この日の新歓も研究室の飲み会としては今までにない大人数でした！広岡先生のウエルカムアドレスと乾杯の音頭で(やや泡の消えかけたビールを前に…^^;)新入生歓迎会はスタート。新しく入ってきた人が多いので、今回の飲み会は軽く終わるのかなと予想していましたが、飲み放題ということもあって、みんないつもの飲みっぷりでした。新メンバーも負けずに応戦。すっかり研究室に馴染んだ感じで、アルコールの量と比例してどんどん盛り上がりました。自他共に認める酒豪のS君は余裕の飲みっぷりで、ときめき話を披露してくれました。K君には早速『古田』という称号が付き、今年度の畜産資源ソフトボールの監督就任が噂されていました。Iさんは、一滴のアルコールも飲まず

に覚えたての日本語を駆使しながら、あまたの酔っ払いの相手をしてくださいました。Nさんのダイエツト話には、そばにいたH先生が猛反撃！「君ら何のために痩せたいんや～僕ら体調管理のために痩せなあかんで一生懸命なのに！」。Y君は、その人柄と自宅住所を公表してしまったがために、編集長を自宅まで送り届けなくてはならないという重責を背負う羽目になりました…。と、こんなに盛り上がる中でちょっと失礼。トイレに入ると、そこには「これ、犯罪級なんじゃないの？」と思うくらいに四方八方から鏡が張り巡らされ(*_*)酔いも覚めて次のラウンドへ向かうのでした。さて、もう何杯のビールや日本酒が飲み干されたのかわからなくなった頃、会はお開きとなりました(幹事さん、お疲れ様～)。K先生率いる呑み足りないメンバーは、噂の「ミック」へ。あれ？お酒の呑めないIさんも二次会参加。付き合いのよさ満点です。二次会もひとしきり盛り上がった後、T氏からの集合の合図で、一部メンバーは研究室へと戻ってきました。その後は朝まで何をしていたのやら？(パチパチ…)



犬鳴山(大阪市泉佐野市)の溪谷

目次:

～広岡先生の随筆①～ 2-3
ウサギとカメ

「やさいをつくらう会」 3

新メンバー紹介① 3
木村君コラム一言一考② 3
「本質」ご無沙汰していました 4
～小林さんからのメッセージ～新メンバー紹介② 4
酒井君

お知らせ 5

お花見

新メンバーが研究室に揃った4月3日(木)、みんなで哲学の道までお散歩がてら花見に行きました。去年同様人出が多かったんですが、熊谷先生の案内で裏道を通ったので、今年は観光客の皆様にご迷惑を掛けずに写真撮影ができました。哲学の道の入り口では、日本酒『哲学の道』を熊谷先生に一升ご購入



頂き、新入生歓迎会でみんなで呑むことにしました。この日、日本の桜をはじめて見たイクバルさんは、桜の美しさに感動ひとしきりでした。帰り道で食べた、3段ソフトクリーム(桜・ほうじ茶・緑茶味)の桜味には、あまりのしょっぱさに驚きました。皆さんも季節限定桜味のソフトクリームを食べるときには用心してくださいね～。



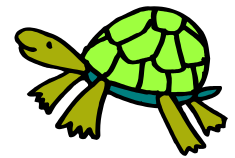
やっとな春が訪れたかと思ったら、何故だか雨の多い4月でしたね。でも今年の桜はいつもより美しかったように感じました。例年より気温が低くて長く楽しめたせいでしょうか…？なかなか思い切って半袖になれない不安定なお天気続きですが、お天気のいい日には是非外に出て、体を動かしたいですね～。畜産資源スポーツ愛好会(初登場?!)では、キャッチボール、バドミントン、フリスビー、卓球、ボーリング、ビリヤード、ダーツ、麻雀などなど…盛り沢山の活動計画が出ています。是非実行したいものですね☆

好評連載 広岡先生の随筆

⑩ウサギとカメ



イソップのウサギとカメの話はだれでも知っている寓話である。この話は走る能力に優れていたにもかかわらず、途中で昼寝をしたため競争に負けたウサギと、走るスピードで劣っていたにもかかわらず、最後まで自分のペースで走りぬき競争に勝ったカメを対比させながら、たとえ能力的に劣っていてもこつこつと物事を行っていたら、能力にまさるものに勝てる



ということを示した寓話である。実際、私もこの話には大いに勇気づけられたものである。しかし、少し視点を変えて、なぜウサギが昼寝をしたかを考えれば、新しいことが見えてくる。

話としてはまったくおもしろくないが、圧倒的に速く走ることのできるウサギが、最初から自分の能力を普通通りに発揮していれば、かけっこには完全勝利していたはずである。それにもかかわらず、ウサギが昼寝をしたのは、一般的には油断したためと考えられているが、私には、その原因はウサギがカメに勝つことのみを考えていたことにあると思えてならない。もし、ウサギが目先の競争よりも、もっと先の大きな目標を見据えていたならば、早々にカメとの競争に勝利して、次の目標に向かっていたはずである。しかし、ウサギは、カメとの競争に勝つこと、しかも、ぎりぎりですべての目標を達成していたため、このような事態に陥ったのである。ギリギリで勝てばよいと考えれば、自然と油断し、遅いほうにペースをあわせてしまうことになる。現実の世界でも、せっかく優れた能力に恵まれながら、周りの人のスピードに合わせて、途中で長い時間を無駄に過ごし、結局、能力の劣る人に先を越されてしまっている人は、多いのではあるまいか。

人の能力の差は、その人の生まれながらの能力の差と考えられがちである。しかし、多くの人の行動とその人生を観察していると、生まれながらの能力の差に勝つとも劣らず、ちょっとした習慣の違いが、その人の出世や人生そのものに大きく影響しているように思われる。その習慣とは、物事を早目にする習慣である。物事を早目にするとは、一見、だれでも簡単にできることのように思えるが、実行しようとするれば容易ではないようである。仕事を早目に終えて、次の仕事に移るというあたりまえの習慣を日ごろから心がけている人は、常に先を見て仕事を行っている。それゆえ、仕事をできるかぎり早く終えようと日ごろから努力し、その積み重ねが、結果として大きな能力の差となって現れてくる。冒頭のウサギとカメの話で、ウサギがカメとの勝負を早目につけて、次のことに移ろうとしていたならば、昼寝などは決してしなかったはずである。カメとの勝負のみを考え、カメのペースに合わせてぎりぎりですべての目標を達成するために、この悲劇は生まれたといえる。

通常、社会は期限のある仕事であふれている。われわれ研究者も、期限のある仕事を数多く抱えている。さらに、研究者の場合、期限を自分に課さなければならない仕事の割合も多い。社会的に人に高く評価されるための要件は、期限内にしっかりした仕事を完了することである。逆にいえば、期限に追われて仕事をしているようでは、決して期限内に仕事を終えられず、仕事の内容も中途半端になって、もって生まれた能力よりずっと低い評価をされてしまうことになる。さらに言えば、目の前の期限のみを考えて仕事をしていると、知らず知らず仕事の遅い人のペースに合わせてしまうことになり、仕事の遅い人と同等の評価しか受けられないことになる。

世の中には、期限ギリギリで仕事を終え、それを快感にしている人が多い。このタイプの人は、並外れて優れた能力があればよいが、中途半端な能力であれば、周りの人に多大な損失を与え、当人の信頼と信用を落としてしまうことになる。一般則として、物事は、期限に対してできる限り早目に終えておくにこしたことはない。そうすることで、同じ仕事をしていても能力の高い人と判断されやすくなる。たとえば、出版社に原稿を送る場合でも、数日でも期限より早く送っておけば、出版社に喜ばれ、仕事のできる人と評価されて、信頼と信用が得られることになる。ちょっと冷静に考えれば、先方の出版社の担当者は、原稿の集まりが悪く、出版の遅れることを最も心配しているものであり、その人の立場に立てば、できる限り早く原稿を送って安心させてあげるのが最高の親切である。このようなことは、どのような関係においても成り立つことである。そしてその積み重ねが、より多くの信頼と信用を生み出すものである。

ウサギのように高い能力を持っているにも関わらず、能力が劣る人とレッテルを貼られることほど損な

ことはない。京都大学の学生たちの中には、最初の寓話にたとえれば、スタート地点で最初から昼寝をし、カメがゴールに入る直前に急に走りだし、ギリギリにカメを追い抜いてゴールに入ることを繰り返しているタイプの学生が多いように見受けられる。途中で昼寝をしたウサギよりもっと性質が悪いといえる。しかし、真に生き残り、最終的に勝ち組になるのは、最初から遠くの目標をめざしてつっぱしるウサギか並外れた努力をするカメかのどちらかであることを知っておくべきである。

この話を家でしていたところ、生活面全般において、私もウサギとまったく同類で、ぎりぎりにしか物事を行わないと家内から指摘を受けた。考えれば確かにそのとおりと反省している。

広岡博之

「やさいを作ろう会」

今年も毎年恒例の応用動物系はくび会主催「やさいを作ろう会」が始まりました。例年通り、今年も無農薬です。初年度の豊作以降、どうも不作が続いていますが、今年は初年度に行なった「馬糞パワー」を注入しました。しかも、まず土作りを行



なって寝かせてから、1週間後に苗& 植えを行なう、という念の入れようです(ごく普通ですが、はくび会で手間をかけるのは珍しいことです)。

相変わらず若さあふれる南先生や熊谷先生を筆頭に、ごりごり耕して、いろんな野菜の苗& 種を植えました。トマト・ナスと言った夏野菜の王道から、とうもろこし、枝豆、イチゴなどです。イチゴはすでに実がついてそうな苗を買ってくる、という暴挙です。ちな

みに、スイカは難しいので却下されました。気になるのは、その次の日に種の場所を鳥がゆうゆう歩いてたことです。今年もやられたか!? 現在までのところ出芽は見られません。。。夏の収穫はどうなることやら。

ただ今回は、何も植えていないところがまだ残っているので、他がダメそうな場合はスーパーでじゃがいも買ってきて適当に埋める予定です。じゃがいもは楽なんで。

みなさん、気がついたら草取りしましょう。楽しんでやぎに食べさせるのはダメですよ、雑草じゃなく野菜食べちゃうんで。雑草だけ食べてくれる賢いやぎ様がいるといいな〜。(かざ)



新メンバー紹介～第1弾～

今年度の畜産資源新メンバーをご紹介します。第一弾は、その風貌から、頭脳野球の経験を生かして今年の畜産資源ソフトボールを引っ張ってくれるのではないかと陰で噂を呼んでいる、新M1の木村君です。4階の研究室に生



- ①木村知史 (きむらさとし)
- ③2月9日
- ④B型

- ⑤京都府
- ⑥滋賀県立大学環境科学部
- ⑦トランペットが吹けること
- ⑧阪神、ロック
- ⑨メロン、トマト、発泡スチロールのこすれる音
- ⑩すぐにヘコむこと
- ⑪新参者で右も左もわからないので、ハマをすると思いますが、お手やわらかにお願いします。
- ⑫①名前②なんて呼ばれたい? ③誕生日④血液型⑤出身地⑥出身大学⑦特技⑧好きなもの⑨嫌いなもの⑩長所⑪短所⑫ひとこと



新M1として入学式を迎えた3人



JR橋本駅(和歌山県)で見つけたヤギの箱。有害図書撲滅に貢献しています

コラム:一言一考 ②「本質」

現時点で一番もっともらしい妥協点。そういうと反論が来そうであるが、本質が本質である証明は非常に難しい。安易な妥協点がすなわち本質であるというわけではない。本質であるか否かは、全ての分野で通じるか否かが一つの目安になるのではないと思う。本質は、どの分野においても闘争を生じさせない説得力がある。その意味で妥協点という言葉を使った。本質は、その性質として非常にシンプルであるだろうし、それだけに把握することが難しい。(めんたいこ)

お誕生日会

4月24日に竹内さんのお誕生日会が開催されました。



この日のために4年生の中川さんが手作りケーキを用意してくれました☆具沢山のプ

ウニー・焼きチーズケーキ・いちごのショートケーキ☆味はもちろん、デコレーションもすばらしく大好評でした！ご馳走様でした♪

**ご無沙汰していました～小林さんからのメッセージ～**

昨年の夏と冬、合計4週間という短い期間でしたが、皆様にはお世話になりました。寄稿のご依頼を頂いていたのに5か月もの間、音沙汰無しで申し訳ありませんでした。

私は那須で行われてきた資源循環研究の最後の担当者になるかもしれません。那須の資源循環研究は、私の前の部長である小川さんの代から始まり、現在的那須のトップである加茂さんの代に移り、私が京大に来られるよう道を付けて下さった山田さんに引き継がれました。フットボールのポジションに例えるなら、それぞれの代に司令塔がいて、リードブロッカーがいて、ランニングバックがいました。ラインを務めてくれたのは、日常の圃場・家畜の管理をしてくれ

た業務科です。多くの人が積み重ねてきた努力のおかげで、今なんとなくゴールが見えます。あと10ヤードか、20ヤード。得点に結びつけたい、最近強そう感じます。廣岡先生が出すブレイコールと、田端さんはじめ京大・畜資のみなさんのパワーを分けていただければ、それができそうです。

もう少し、お付き合い下さい。よろしく願い致します。

独立行政法人

農業・食品産業技術総合研究機構

畜産草地研究所

飼料調製給与研究チーム

研究室【係の仕事】

～今年度の新しい係と担当者が決まりました～

実験系: 田端・木村

T A: 塚原

ホームページ: 西尾・酒井

ゼミ: 児嶋

物品管理: 椎野・児嶋

はくび会: 椎野・木村

飼育: イクバル・酒井

イベント・会計: 竹内・中川

また、今年度から新たにPCインフラと外国語会話の係ができました。

PCインフラ: 児嶋・柳

外国語会話: レニン・イクバル

外国語会話では、英語・スペイン語・インドネシア語など、さまざまな言語のレッスンプランが予定されるようです。楽しみですね♪

さらにGoat Bulletinの編集補助にも月替わりの担当制度が導入されることになりました。研究室の掃除に関しては、今までどおり各部屋ごとで分担などを決めてもらいます。

応用生物科学専攻新入生歓迎会

毎年恒例の応用生物科学専攻新入生歓迎会が、まだ肌寒い4月8日(火)、しだれ桜の咲き誇る農学部演習林で開催されました。連日の天候不良で、室内開催かと危ぶまれましたが、そこは今年の新入生の『日頃の行い』の賜物でしょう、きれいな桜を楽しみながらの歓迎会となりました。肌寒い中の生ビールに文句を言いつつさすがの畜産資源、



たが、そこは今年の新入生の『日頃の行い』の賜物でしょう、きれいな桜を楽しみながらの歓迎会となりました。肌寒い中の生ビールに文句を言いつつさすがの畜産資源、

ビールもお酒もワインもつまみも自分たちのテーブルに総お取り寄せして、一番の盛り上がりようでした。他研究室の紹介コーナーでは、あまりの騒がしさに注意を受け、畜資の紹介ではテンションの高さについて来れない研究室が多く見受けられました。お開きのあと2次会を研究室へと引っ張った張本人は、また今年も自覚なく…(苦笑…そのため2次会がどんな様相だったかは、ここでお話することができません。悪しからず)。この瞬間から一気に新メンバーとの距離縮まったのは言うまでもありません。

**新メンバー紹介～第2弾～**

新メンバー紹介第2弾は、青年海外協力隊マラウイ・家畜飼育隊員出身、研究生の酒井君です。1階の研究室に住んでいます。



- ①酒井貴志(さかいたかし)
- ②酒井
- ③1981.10.31
- ④O型
- ⑤大阪
- ⑥近畿大学
- 生物理工学部

⑦牛の子作り(人工授精)妊娠の認知(牛に限る)→妊娠鑑定

⑧汗をかいた後のビール、お酒をおいしそうに飲む人

⑨二日酔いの朝、前日の記憶がない自分

⑩だいたいお酒を飲みます

⑪だいたいお酒に飲まれます

⑫よろしくお願いします

①名前②なんて呼ばれたい?③誕生日④血液型⑤出身地⑥出身大学⑦特技⑧好きなもの⑨嫌いなもの⑩長所⑪短所⑫ひとこと

Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365
FAX 075(753)6365
http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で
成り立っています。形式・文字数は問いません。
また、読者の方々からのご意見やお問い合わ
せも受付中です。下記のアドレスまで送信して
ください。

E-mail: yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

今月のゼミは、学生実験のため21日がお休みになります。研究者会議もスタートします。今月の予定は、

5月 7日(水) 竹内・酒井(文献紹介) 14:45~ W-210
9日(金) 児嶋(研究計画) 10:30~ W-210
14日(水) 木村・イクバル(文献紹介) 14:45~ W-210
28日(水) 中川・酒井(文献紹介) 14:45~ W-210
30日(金) 西尾(研究計画) 10:30~ W-210

となっています。但し、変更等あればまたご連絡します。 ゼミ係

今月のお誕生日会

今月のお誕生日さんは、柳君(13日)です。お題は和菓子(柏餅&三色団子)です。開催日程は追ってご連絡します。 イベント係

山羊係からのお知らせ

今年度、ゼミの日程が毎週水曜日になったことを受けて、山羊当番も水曜日から木曜日までの一週間を単位として、皆様に担当していただくことになりました。そろそろ暖かくなってきたので、腰麻痺予防もはじめます。よろしくお願ひします。 山羊係

学生実験

5月20~21日に今年度第1回目の学生実験が行われます。事前に内容の打ち合わせと担当者の割り振りを行いますので、皆さんのご協力をお願いします。

TA係

2008年 5月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
4/27	28	29	30 レニン・イクバル・ 児嶋・柳 体重測定・腰麻痺予防	5/1	2	3
4	5	6	7 田端・椎野 体重測定	8	9	10
11	12	13	14 塚原・酒井 体重測定・腰麻痺予防	15	16	17
18	19	20 学生実験	21 学生実験 熊谷先生・木村 体重測定	22	23	24
25	26	27	28 大石先生・竹内 体重測定・腰麻痺予防	29	30	31

編集後記 毎年ゴールデンウィークのたびに結婚式に招待されます。近頃は、「新郎・妊婦」どころかお子さんもご一緒の家族3人で結婚式というのもあまり珍しくなくなったようです。ともあれ、おめでたい席にお呼ばれするのは嬉しいものです。幸せを分けてもらえたり、新郎新婦そっちのけで同窓会ができた、その後の発展があったり…? 季節は人の気持ちを動かす力があるのでしょう。ウキウキの春です。